

# あらまし

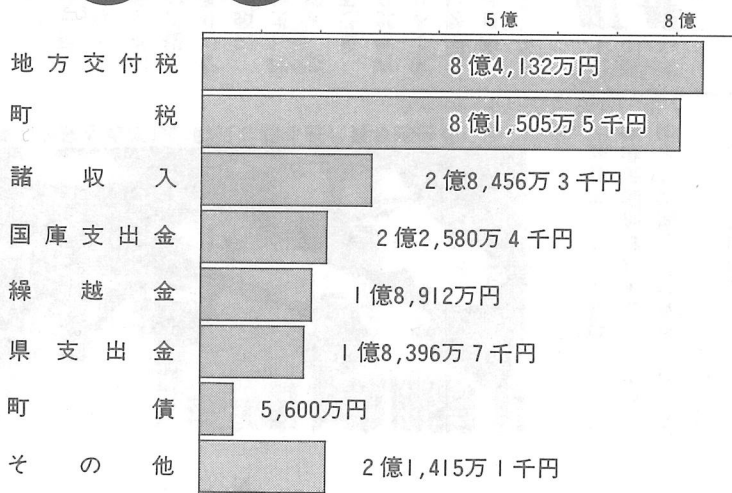
町が、さまざまな仕事を進めていくうえで、それに要する費用としてどのくらい収入（歳入）があり、どのように使われたか（歳出）を年2回皆さんにお知らせするのが財政状況の公表です。今回は、60年度決算についてお知らせします。

## 一般会計

歳入

入

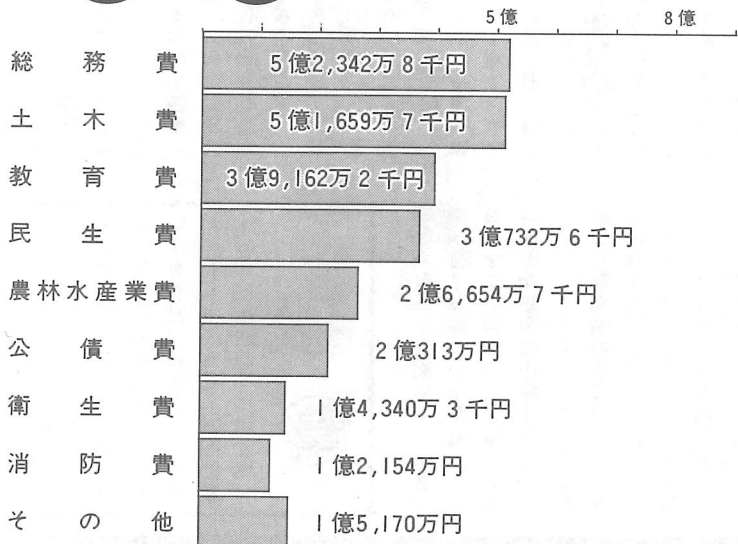
28億998万円



歳出

出

26億2,529万3千円



### ◆一般会計

昭和60年度一般会計の決算額は歳入総額28億998万円で、前年度に比べ2.3%増え、歳出総額においても、26億2,529万3千円と、前年度より2.7%増となっています。

これは、重点施策である町道坂田遠山線道路改良事業の事業費の伸びによるものです。

収支差引額は1億8,468万7千円の赤字となりました。

なお、経常収支比率は前年度に比べ0.7%下がり、78.7%となりました。

※経常収支比率……人件費や公債費などの経常的な経費に、町税や地方交付税などの経常的収入である一般財源がどのくらい使われているかを示す数値

（普通70～80%が望ましく、これ以上になると財政の弾力性が失われるといわれています。）

### ◆国民健康保険特別会計

歳入総額は7億3,679万6千円（対前年度比22.6%増）、歳出総額は7億1,091万円（対前年度比23.1%増）となり、それぞれ前年度を大幅に上回りました。

歳入では、国民健康保険税が59年10月の法改正で国庫支出金が削減されたことと、医療費の増により、15.6%と高い伸び率を示しています。

歳出については、医療費の急増に伴い、保険給付費が前年度より24.3%と大幅に増えました。

歳入歳出差引残高は2,588万6千円となりました。

### ◆老人保健特別会計

歳入総額3億8,914万2千円（対前年度比12.6%増）、歳出総額3億7,722万2千円（対前年度比10.6%増）となり、差引残高は1,192万円となりました。

医療費の大幅な伸びに伴い、一般会計からの繰入金が多くなったことによるものです。